

主として計算または制御目的に用いられる流体回路素子（トランスデューサ F15B5/00; 流体力学一般 F15D; 流体素子から成る計算機 G06D, G06G)

注

“マイクロ構造装置”と“マイクロ構造システム”に関するクラス B81 とサブクラス B81B のタイトルの後の注に注意すること。[7]

- 1/00 可動部分をもたない回路素子
- 1/02 ・細部
- 1/04 ・・流体装置に対して流体の流れを制御する手段, 例. 電氣的信号によるもの
- 1/06 ・・構造上の細部; 個々の材料の選択

注

- ・・グループ 1/22 がグループ 1/08 から 1/20 に優先。[2]
- 1/08 ・境界層装置, 例. 壁面付着形素子[2]
- 1/10 ・・デジタル動作用のもの, 例. 論理的フリップフロップ, オアゲート, ノアゲートを形成するもの
- 1/12 ・・・同種の働きを行なうためのそれらの複数配列, 例. 多数決ゲート, 一致ゲート
- 1/14 ・流れ相互作用形装置; 運動量交換形装置, 例. 直交関係にある 2 つの噴流間の交換によるもの
- 1/16 ・渦流形装置, すなわち流弁中の渦運動に伴う圧力降下が作られるための装置
- 1/18 ・乱流形装置, すなわち制御流が層流を乱流にする装置
- 1/20 ・直接衝突形装置, すなわち 2 つの対向する同軸上の動力流が衝突させられる装置
- 1/22 ・発振器[2]
- 3/00 可動部分をもつ回路素子（弁, 弁の構造 F16K)

注

グループ 3/16 がグループ 3/02-3/10 に優先する。[2]

- 3/02 ・スプール弁を用いるもの
- 3/04 ・ダイヤフラムを用いるもの（膨脹可能な弾性体への弁の取り付け B60C29/00)
- 3/06 ・球を用いるもの
- 3/08 ・リードを用いるもの
- 3/10 ・ノズルまたは噴射管を用いるもの
- 3/12 ・・ノズルまたは噴射管が可動であるもの
- 3/14 ・・ノズル噴流がしゃへい板にさえぎられるもの
- 3/16 ・発振器[2]
- 4/00 特別の機能を特徴とする回路素子
- 5/00 流体回路素子の製造; 流体回路素子の集合体の製造
- 7/00 混成素子, すなわちグループ F15C1/00-F15C3/00 に適合する複数の特徴を有する回路素子[2]